



2024年5月13日

各位

会社名 クワザワホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 桑澤 嘉英
(コード：8104 東証スタンダード・札証)
問合せ先 企画本部長 信太 孝樹
(TEL 011-860-5080)

連結業績予想の上方修正および 退職給付制度移行に伴う一時的な制度終了損の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月15日に公表しました2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結業績予想を上方修正いたしました。また、同連結会計期間（2023年4月1日～2024年3月31日）において、確定給付年金制度終了に伴う一時的な制度終了損を計上する見込みですので、併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

2024年3月期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	65,000	950	1,100	650	43.25
今回修正予想(B)	65,000	1,300	1,500	700	46.56
増減額(B-A)	0	350	400	50	
増減率(%)	0.0	36.8	36.4	7.7	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	64,308	853	1,083	601	39.99

2. 修正の理由

2024年3月期の連結業績は、建設コストの上昇や新設住宅着工戸数の減少など厳しい経営環境の中、顧客獲得および販売シェア拡大に向けた積極的な営業活動を展開したほか、リニューアル・土市場の強化、施工体制の拡充、既存取引先との関係強化等を推進したことにより、営業利益および経常利益が予想を上回る見込みとなりました。

3. 一時的な退職給付制度終了損の計上

多様化する社員のライフプランに対応するとともに、退職給付費用の変動による財務上のリスクを軽減し、将来にわたって経営および企業年金制度を安定化させることを目的として、確定給付年金制度を終了し、確定拠出年金制度に完全移行することに伴い、241百万円を一時的な制度終了上の退職給付制度終了損として処理計上する見込みです。

※ 上記の記載内容は、本資料発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上